



# 高圧用配管閉止治具

高圧用配管の気密試験範囲を最小限にしてコストダウンを実現

平成24年3月16日登録 / 高圧用配管閉止治具

特許取得 第 4948570 号

## 背景

ハイドラント配管改修におけるスポット閉鎖の長期化を回避するため、配管溶接後の気密試験範囲の極小化を目的として開発しました。

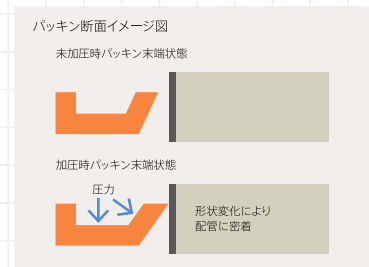
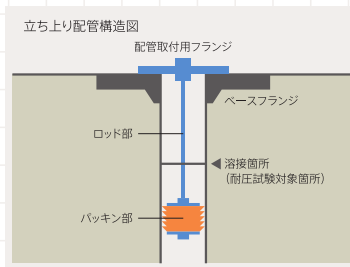
## 概要

弾性体の円形パッキンを使用することで、繰り返しの使用が可能となりました。また外側にテーパ加工を施すことで、高圧の気密試験を行うことができ、取扱いが容易に。なお、パッキンを重ね合わせることで、さらなる高圧化も可能となり、高い圧力に対応すべく、パッキンの断面形状を工夫。圧力が高くなればなるほど、配管に密着する構造になっています。

## 仕様

〈基本仕様(6Bハイドラント配管使用例)〉

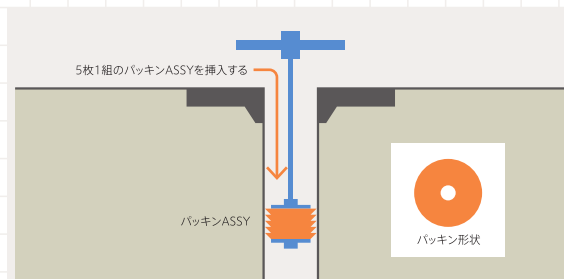
- 1 対象配管:ハイドラント立上り配管
- 2 対象配管サイズ:φ約150mm(6B)
- 3 パッキン材質:耐油性ゴム
- 4 気密区間:約1000mm
- 5 気密性能:約1.8MPa
- 6 装置外形サイズ:φ340×1400(L)mm
- 7 装置重量:約40kg



## 施工例

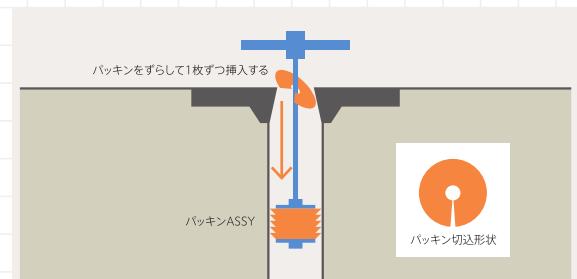
### 施工例1

- ストレート形状の配管(口径φ150mm)閉止。
  - 5枚一組の円板状パッキンを配管内へ挿入し、約1.8Mpaの気密試験。
- ※本施工例は所轄消防本部の許可を得て航空機給油取扱所の配管に適用したものです。



### 施工例2

- 切り込みタイプパッキンで、挿入口が小径(φ100mm)場合でも配管閉止が可能。
- ※切り込み部漏れはパッキン重ね合わせで解決。



## 機器写真

